

Vol. 12/ December 2018

■主催イベント報告

ISOC-JPでは、年に3回開催されるIETF会合の内容を、日本国内の技術コミュニティに共有することを目的としたIETF報告会や、IETF会合開催地における日本人参加者の懇親・情報交換のための"get together"を開催しています。

IETF102 モントリオール 報告会

日時：2018年8月31日（金）13:30-18:00

会場：青山学院大学青山キャンパス（ストリーミング中継有）

2018年7月14日～20日に、カナダ・モントリオールでIETF102が開催されました。様々なWG/BoF/RGにおける議論から、本報告会では、以下の話題について会合参加者からご報告頂きました。

- IETF102ホットトピック/全体総括
- NewComer報告
- (特集1) 認証・認可技術のスコープと標準化状況
- (特集2) 5G時代に向けたネットワーク技術動向
- DNS関連の標準化動向
- IPv6関連の標準化動向
- QUIC/HTTP2の標準化動向

全体的な動向に加え、特集1では、認証・認可技術としてIETFにおける認証技術の概要をはじめルーティングにおける認証やデバイス層の認証(SUIT/TEEP/RATS/ANIMA等)等を報告頂きました。また、特集2では、5Gに向けたトラフィックエンジニアリング技術やSegment Routing等を報告頂きました。

IETF102 モントリオール Get together

ISOC-JPでは、IETFへの日本人参加者増を目的として、現地における懇親・情報交換のための食事会"get together"を開催しています。今回は20名以上の方に参加頂き懇親を深めました。



写真：IETF102 報告会の様子



写真：新CEOとのミーティング参加者

■後援イベント等報告

青山学院大学での講習会

日時：2018年8月31日（金）10:30-12:00

会場：青山学院大学青山キャンパス

IETF102報告会に併せ、ISOC-JPでは青山学院大学情報メディアセンターと連携し、学生をはじめとしたインターネット技術に関する初学者を対象に、標準化の必要性やその動向を紹介するための講習会を開催し、30名近くの方に参加頂きました。本講習会では、ISOC-JPの根本の他に小川晃通様や林達也様等を講師に招き、参加した学生等と活発な議論が行われました。

IRS(Inter-Domain Routing Security) 29

日時：2018年10月5日（金）19:30-19:50

場所：株式会社ミクシィ本社 セミナールーム

ISOCはMANRS(Mutually Agreed Norms for Routing Security; 安全なルーティングを実現するためにネットワークオペレータやIXPのための運用に関する合意規範)についてグローバルに普及促進に向けた取組を実施しています。ISOC-JPでは、IRS29にてこれまでの取組やプログラムへの参加方法について発表を行いました。会場からはプログラム登録のメリットについての質問やルーティングセキュリティに関する取組が進んでいる日本では登録を進めていくべきといった意見が寄せられました。

ISOCの新CEOとのミーティング

日時：2018年11月6日（土）9:00-10:30

場所：Bangkok Marriott Marquis Queen's Park

IETF103期間中に、ISOCの新CEOのAndrew Sullivan氏との会合が開催され、APAC地域の支部の一部(タイ、フィリピン、インドネシア、台北、日本)が参加しました。CEOからは「支部同士での情報共有によって新しい発見が生まれるので、ISOCとして、情報共有のための協力を惜しまない」と話がありました。

Internet Society Japan Chapter
インターネットソサイエティ 日本支部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2
アーバンネット神田ビル 4F JPNIC内
E-Mail: contact@isoc.jp
<https://www.isoc.jp/>